



みなみたなか

平成25年3月21日
練馬区立南田中小学校
校長 梶谷 雅弘

平成24年度の有終の美を飾る

校長 梶谷 雅弘

いよいよ今年度も、明日の修了式と25日の卒業式を残すばかりとなりました。各学級では、それぞれの学年の有終の美を飾ろうと児童一人一人が、今年度の目標のうちまだ達成していないものは何か、そして、やり残したことは何かと振り返り最後の「がんばり」をすると共に、教室や机・椅子をきれいにし気持ちよく下級生に使ってもらおうと大掃除にも余念がありません。

そんな有終の美を飾ろうと張り切っている子供たちとの明日の修了式を楽しみにしています。保護者の皆様には、今年度も、学校の教育活動に対しまして、温かいご理解とご支援を賜りまして誠に有り難うございました。皆様のご支援のお陰に依りまして、本校の教職員は、日々の教育活動に全力投球をすることが出来ました。心より感謝申し上げます。



笑顔のスタッフの皆様



6年生がお送りした寄せ書き

さて、最高学年として全校をリードしてくれた6年生ですが、野村百合子教諭がたまたま訪問する機会があった宮城県石巻市の「高橋徳治商店」の皆様と心と心が触れあう素敵な交流をさせていただいていますので、紹介いたします。

野村教諭から工場の話聞き、6年生が応援のメッセージとスウェーデン刺繍をお送りしたことがきっかけで、社長の高橋英雄様から、心温まるお手紙を頂戴し交流が始まりました。

練馬区立南田中小学校6年生の皆さんへ 宮城県石巻市の高橋英雄と申します。

皆さんの心こもったすばらしいスウェーデン刺繍をいただきました。ありがとうございます。

現在スタッフは29名しか働いていませんが、みんなで刺繍やよせ書きを前にして涙ぐむ人、びっくりする人、ウワーって顔を近づけて針や糸のあとを見る人、えらいねえってほめる人、えっ！石巻や被災地におじいさんがいるんだ、心がやさしいね。カベにはられた刺繍は当社のスタッフみんなのこころまでとどいたようです。

心にとどくには、こころを込めて作ったり、とどける人のことを一生懸命に想像して作ったり書いたりしないと、作ったものも私たちのこころには届かないものです。

そういった意味では皆さんは一生懸命作って書いてくれたんですね。……

・・(途中省略させていただきます。詳しくは、高橋徳治商店のHPをご覧ください。)

・・・練馬区立南田中小学校の6年生の皆さんの刺しゅうも温かいお便りも、今の私たちにパワーの元です。廊下にはあってあり毎日見てるんですよ。

家もなく氷点下の夜、寒い仮設住宅で、また三度目の3月11日がやってきます。でも皆さんのプレゼントで心は温かいです。ありがとうございます。本当にありがとうございました。

お手紙の最後に、「おとうふ揚げ」を贈りたいのですがいかがですかと書いてくださっていたので、担任や野村教諭と相談をし、最後の調理実習に使わせていただくことにしました。

お忙しい中、本校のわがままをお聞きくださり、おいしいおいしい皆さんの真心がこもったおとうふ揚げをたくさん調理実習前日に贈っていただきました。

調理実習の様子とお礼のメッセージ、そして、お礼の演奏をDVDにしてお送りいたしました。

6年生が笑顔で調理実習をする姿をご覧になり、また、お礼のメールを戴いています。

子供たちの真心が、高橋徳治商店の皆様にも元気になっていただく事に繋がったのです。真心と真心の交流ができ、6年生にとっても、大変貴重な体験をさせていただきました。この経験は、かけがえのないものとなり、一生涯の心の支えになるものと信じています。高橋徳治商店の皆様本当に有り難うございます。心より御礼申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

本校自慢の最上級生の小学校最後の授業となる25日の卒業式を楽しみにしています。

シューズバンクプロジェクトにご協力いただき、有り難うございました。



4年生の児童の呼びかけに応じてくださり、今年も、大勢の皆様のご協力を戴き実施することが出来ました。回覧板をご覧になった地域の方々もわざわざ学校にお持ちくださいました。本当に有り難うございました。皆様のご支援に重ねて御礼申し上げます。来年度もよろしく願いいたします。